## 6 各科目シラバス

| 科目選択コード | 609100101 | 科目名 | 家庭基礎 | 単位数 | 2単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 履修年次 | 1年次 | 設置系列 | | 履修条件 | 選択必履修 |
| 使用教材 | 教科書 | 未来へつなぐ家庭基礎365（教育図書） | | | |
| | 副教材 | なし | | | |
| 到達目標 | 自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付けることが目標です。 | | | | |
| 選択条件 | 「家庭基礎」・「家庭総合」どちらかを必ず選択して全員が履修する必履修科目です。 | | | | |
| | 【補足】 | | | | |
| 授業内容 | ①講義とペア・グループ活動での演習を組み合わせながら授業を進めていきます。<br>②被服実習は、自分で必ず完成させ、使用できるように作品を制作します。<br>③調理実習は、自分で作るを意識して、自宅で復習できるものを作ります。<br>④家族・子ども・高齢者・食生活・衣生活4・住生活・消費生活の分野を1年間で学習するため被服・調理実習の時間は短時間で効率的に行います。 | | | | |
| 学習方法 | ①復習を確実に行い、授業内容をその都度理解していくようにしましょう。<br>②学習したことを自分のものにするためにも、家庭内の仕事に積極的に取り組みましょう。<br>③新聞やニュースを視聴することにより、現在の家庭生活に関する課題を知り、それを解決するためにはどうすればよいか、考える習慣をつけましょう。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解とそれに係る技能を身につけることができている。 | | | |
| | 思考・判断・表現 | 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るための取り組むことが具体的にできている。 | | | |
| 評価方法 | 知識・技能 | パフォーマンス課題・学習プリント・グループ活動・考査 | | | |
| | 思考・判断・表現 | パフォーマンス課題・学習プリント・グループ活動・考査 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | パフォーマンス課題・学習プリント・グループ活動 | | | |

## 6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>609110101(1年)<br>609110102(2年)</td><td>科目名</td><td>家庭総合</td><td>単位数</td><td>1年次(2単位)・2年次(2単位)</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>1・2年次<br>(継続)</td><td>設置系列</td><td></td><td>履修条件</td><td>選択必履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">未来へつなぐ家庭総合365(教育図書)</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="4">なし</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付けることが目標です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="5">①「家庭基礎」・「家庭総合」どちらかを必ず選択履修する必履修科目です。1・2年の2年間履修することが条件です。<br>②保育士や幼稚園教諭を将来目指している生徒。<br>③調理師やパティシエなど将来調理とかかわる職業を考えている生徒。<br>④まだ明確ではないが、将来調理関係や子どもとかかわる仕事など家庭科に関係あることから進路を考えたいと思っている生徒。</td></tr>
<tr><td colspan="5">【補足】<br>家庭科に関係する進路を希望している生徒の中で、4年制大学進学を希望している生徒は、家庭基礎を選択するようにしてください。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="5">①家族・子ども・高齢者・食生活・衣生活・住生活・消費生活の分野を2年間で学習します。<br>②1年で被服実習、ミシンを使って作品を制作します。<br>③2年で調理実習を実施します。</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="5">①復習を確実に行い、授業内容をその都度理解していくようにしましょう。<br>②学習したことを自分のものにするためにも、家庭内の仕事に積極的に取り組みましょう。<br>③新聞やニュースを視聴することにより、現在の家庭生活に関する課題を知り、それを解決するためにはどうすればよいか、考える習慣をつけましょう。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解とそれに係る技能を身につけることができている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に<br>取り組む態度</td><td colspan="3">よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るための取り組むことが具体的にできている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">パフォーマンス課題・学習プリント・グループ活動・考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">パフォーマンス課題・学習プリント・グループ活動・考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に<br>取り組む態度</td><td colspan="3">パフォーマンス課題・学習プリント・グループ活動</td></tr>
</table>

## 6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>609120103</td><td>科目名</td><td>暮らしとマナー</td><td>単位数</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>3年次</td><td>設置系列</td><td></td><td>履修条件</td><td>選択履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">なし</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="4">最新版　楽しく学べるマナーの基本（教育図書）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">社会人としてのマナーと家庭生活の中で知っておきたいマナーについて理解し、実践することができるようになる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="5">①就職希望者の中でマナーを学習したい生徒。<br>②グループ活動やペアワークに積極的に参加できる生徒。</td></tr>
<tr><td colspan="5">【補足】<br>　商業科目の「秘書入門」と内容が重なっています。「秘書入門」を受講者は選択する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="5">実習を通して、次のような内容を学習していきます。<br>①礼儀作法<br>②テーブルマナー<br>③正しい言葉遣い<br>④手紙の書き方<br>⑤訪問・贈り物のマナー</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="5">①復習をしっかりして、授業内容を確実に理解していきましょう。<br>②マナーについては、日ごろから授業で学んだことを繰り返し、実践していくことが大切です。<br>・敬語を使って、話す習慣をつける。<br>・美しい姿勢を保とうと意識をもつ。<br>・授業で学んだことは継続して実践していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">日常生活の中で知っておきたい一般常識を理解し、生活をより豊かにするために日常生活で学習内容を実践することができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">社会人として責任をもつことの大切さや、身だしなみの意味と装いの基本を理解し、日常生活において活かすことができる。（授業中の様子・提出物）</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="3">生活の質の向上のために、生活の中に課題を見つけ、周囲の人と協働して解決に向けて取り組むことができる。（授業中の様子・提出物）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">パフォーマンス課題・グループ活動・発表・考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">パフォーマンス課題・グループ活動・発表・考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="3">パフォーマンス課題・グループ活動・発表・</td></tr>
</table>

## 6 各科目シラバス

| 科目選択コード | 616140103 | 科目名 | 保育基礎 | 単位数 | 2単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 履修年次 | 3年次 | 設置系列 | | 履修条件 | 選択履修 |
| 使用教材 | 教科書 | 保育基礎（教育図書） | | | |
| | 副教材 | なし | | | |
| 到達目標 | 保育についての基本的な知識と技術を身にける。 | | | | |
| 選択条件 | ①将来、保育士・幼稚園教諭などの職業を希望している生徒。<br>②子どもとかかわる仕事を希望しているため、保育についての知識や技術を身につけたいと考えている生徒。 | | | | |
| | 【補足】 | | | | |
| 授業内容 | 子どもの成長について基礎的な知識を学習します。<br>①子どものからだや心の発達<br>②子どもの生活～子どもの生活習慣の形成について～<br>③子どもの文化～子どもの遊びと表現活動～<br>※長期休業中に保育所等での実習を予定しています。 | | | | |
| 学習方法 | ①復習をしっかりして、授業内容を確実に理解していきましょう。<br>②日頃から子どもを取り巻く問題に関心を持ち、新聞やニュースを視聴する習慣をつけましょう。<br>③相手の立場にたって物事を考え、積極的にコミュニケーションをとる習慣を身につけましょう。<br>④校外のボランティア活動に積極的に参加しましょう。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 子どもの発達、子どもの生活習慣、子どもの文化について、基礎的な知識を理解するとともに、関連する技術を身につけている。（定期考査・ワークシート・実技テスト・作品） | | | |
| | 思考・判断・表現 | 子どもを取り巻く課題を発見し、解決を目指して思考を深め適切に判断し創意工夫し、表現することができる。<br>（発表・レポート） | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 子どもに関する関心と課題意識を高め、主体的かつ協働的に取り組むことができる。（授業中の活動・提出物） | | | |
| 評価方法 | 知識・技能 | パフォーマンス課題・グループ活動・発表・考査 | | | |
| | 思考・判断・表現 | パフォーマンス課題・グループ活動・発表・考査 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | パフォーマンス課題・グループ活動・発表 | | | |

## 6 各科目シラバス

| 科目選択コード | 616190102(2年)<br>616190103(3年) | 科目名 | ファッション造形基礎 | 単位数 | 2単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 履修年次 | 2・3年次 | 設置系列 | | 履修条件 | 選択履修 |
| 使用教材 | 教科書 | ファッション造形基礎(実教出版) | | | |
| | 副教材 | なし | | | |
| 到達目標 | 洋服製作の基礎的な知識と技術を身につけることができる。 | | | | |
| 選択条件 | ①被服製作等の実習を中心とした授業です。<br>②洋服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を学びたい生徒。<br>③服飾関係の大学・短大や専門学校への進学を考えている生徒。<br>④着用できる洋服を完成させるまで粘り強く取り組むことができる生徒。 | | | | |
| | 【補足】 | | | | |
| 授業内容 | ①洋服の構成と被服材料について<br>②被服製作(日常着として着用できる服の製作) | | | | |
| 学習方法 | ①洋服の素材・構成に興味を持ち、理解する。<br>②手縫い・ミシン操作に関して、基礎基本をしっかり身につけていく。<br>③型紙作成・印しつけ・裁断を丁寧に行なうことで作品の出来栄えが変わります。丁寧な作業を心がけましょう。<br>④欠席・遅刻があると、製作作業が遅れます。その場合、放課後や長期休業中に補講をする場合があります。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。 | | | |
| | 思考・判断・表現 | 被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッション造形に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | | | |
| 評価方法 | 知識・技能 | 小テスト・レポート・被服製作作品・振り返りシート | | | |
| | 思考・判断・表現 | 小テスト・レポート・被服製作作品・振り返りシート | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 小テスト・レポート・被服製作作品・振り返りシート | | | |

## 6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>6210102(2年)<br>616210103(3年)</td><td>科目名</td><td colspan="2">ファッションデザイン</td><td>単位数</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>2・3年次</td><td>設置系列</td><td colspan="2"></td><td>履修条件</td><td>選択履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="5">ファッションデザイン(実教出版)</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="6">色・形・素材などファッションの基礎を理解した上で、テーマに沿ったファッションデザイン画を描くことができる。また、自分が描いたでデザイン画を作品制作に生かすことができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="6">①演習・実習を中心とした授業です。<br>②ファッションデザイン画を描いて、自分のイメージするファッションを表現したい生徒。<br>③ファッションデザインの基礎である、色彩・歴史について学びたい生徒。<br>④服飾関係の大学・短大・専門学校への進学を考えている生徒。</td></tr>
<tr><td colspan="6">【補足】<br>家庭科に関係する進路を希望する生徒の中で、4年制大学進学を希望している生徒は、家庭基礎を選択するようにしてください。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="6">①ファッションデザインの基礎(形態・色彩・素材等について)演習<br>②ファッションの歴史について<br>③ファッション画による表現演習<br>④ファッション画を基に1/6サイズの作品制作</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="6">①復習を確実に行い、授業内容をその都度理解していくようにしましょう。<br>②発想力と表現力が必要です。発想を広げるために好奇心をもって日頃から生活していくようにしていきましょう。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="4">ファッションデザインの基礎、発想や表現の方法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="4">ファッションデザインに関する課題を見出し、合理的・かつ創造的に解決することができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="4">ファッションに関する課題に対して自ら学び、ファッションの創造的なデザインに主体的に取り組むことができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="4">パフォーマンス課題・グループ活動・発表・考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="4">パフォーマンス課題・グループ活動・発表・考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="4">パフォーマンス課題・グループ活動・発表</td></tr>
</table>

## 6 各科目シラバス

| 科目選択コード | 616230103 | 科目名 | フードデザイン | 単位数 | 2単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 履修年次 | 3年次 | 設置系列 | | 履修条件 | 履修 |
| 使用教材 | 教科書 | フードデザイン Food Changes LIFE（教育図書） | | | |
| | 副教材 | なし | | | |
| 到達目標 | 栄養と食品、調理の基本的な知識及び、調理の基本的な技術を身につける。 | | | | |
| 選択条件 | ①栄養士・調理師・パティシエ・食品製造に関する職種などを希望し、栄養と食品についての知識・技術を身につけたいと考えている生徒。 | | | | |
| | 【補足】 | | | | |
| 授業内容 | ①栄養や食品に関する基礎的な知識を学習します。<br>②健康で豊かな食生活を営むための食事の在り方について考えます。<br>③和洋中の基本的な調理技術を身につけるとともに、食卓マナーについて学習します。<br>④食卓の整え方について学習します。<br>⑤いろいろな食品についての調査研究を行い、それをまとめて発表する技術を身につけます。 | | | | |
| 学習方法 | ・復習をしっかり行い、授業内容を確実に理解するようにしましょう。<br>・日頃から「食」に対して興味をもち、食材の旬や利用の仕方に目を向けておきましょう。<br>・積極的に実習に参加し、さらに家庭で繰り返すことによって、確かな調理技術を身につけましょう。<br>・食生活を楽しく豊かにするために、食卓の整え方にも関心を持ちましょう。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 科学と文化・安全と環境に配慮した食生活に関心をもち、健康的な食生活に必要な知識と技術を身に着けている。 | | | |
| | 思考・判断・表現 | 栄養、食品、調理及び食品衛生などについて、課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し表現することができる。 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 自分や家族の食生活を見直し、健康的な食生活営むために必要な食品の知識や技術を積極的に学ぶ意欲がある。 | | | |
| 評価方法 | 知識・技能 | パフォーマンス課題・学習プリント・グル-プ活動・定期考査 | | | |
| | 思考・判断・表現 | パフォーマンス課題・学習プリント・グル-プ活動・定期考査 | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | パフォーマンス課題・学習プリント・グル-プ活動 | | | |